

# まい 埋やちよ

No. 3 4

千葉県八千代市

埋蔵文化財通信

2016.10.15

(平成 28 年)

## 八千代市制施行 50 周年記念—市内で発掘された遺跡—

### はじめに

平成 29 年 1 月で八千代市は市制施行 50 周年を迎えます。八千代市の発展とともに多くの遺跡が調査されました。50 周年を記念して市内で発掘された主な遺跡を紹介します。

### 旧石器時代

ゆりのき台に所在する権現後（ごんげんうしろ）遺跡では、約 2.8 万年前の石器が出土しています。市内で最古の人々の生活の痕跡と言えます。その他、ゆりのき台のヲサル山遺跡からも同年代の石器が出土しています。

### 縄文時代

人々が狩猟や採集を行って生活していた時代で草創期・早期・前期・中期・後期・晩期に区分されています。

八千代市では、権現後遺跡や上高野の新林（しんばやし）遺跡で、早期の土器が出土しています。また、島田台の間見穴（まみあな）遺跡や保品の上谷（かみや）遺跡などでは、早期の土器とともに屋外の調理施設と考えられる炉穴を多数発見しました。また、大和田新田の大和田新田芝山（おおわだしんでんしばやま）遺跡では、ケモノを捕獲するために掘られた落とし穴が多く調査されました。

前期は、気候が温暖化し、海水面が上昇する時期とされ、八千代市でも新川から離れた位置に遺跡が立地する傾向にあります。緑が丘のライノ作南（をいのさくみなみ）遺跡で 24 軒、上高野の新林遺跡で 15 軒の竪穴住居跡を調査しました。

中期では吉橋の八王子台（はちおうじだい）遺跡で 18 軒の竪穴住居跡が調査されました。

後期からは、調査例が少なくなります。調査はされていませんが、佐山には佐山（さやま）貝塚、神野に神野（かの）貝塚があることが知られています。

晩期になると遺跡数・調査数ともに少なくなります。古い調査（昭和 26 年早稲田大学）では、保品の大江間（おおえま）遺跡で晩期の土器とともに割り船（くりぶね）が出土しました。割り船の複製品は八千代市立郷土博物館に展示しています。

### 弥生時代

大陸から先進技術が入り、米作りが本格化した時代で、早期・前期・中期・後期に区分されています。

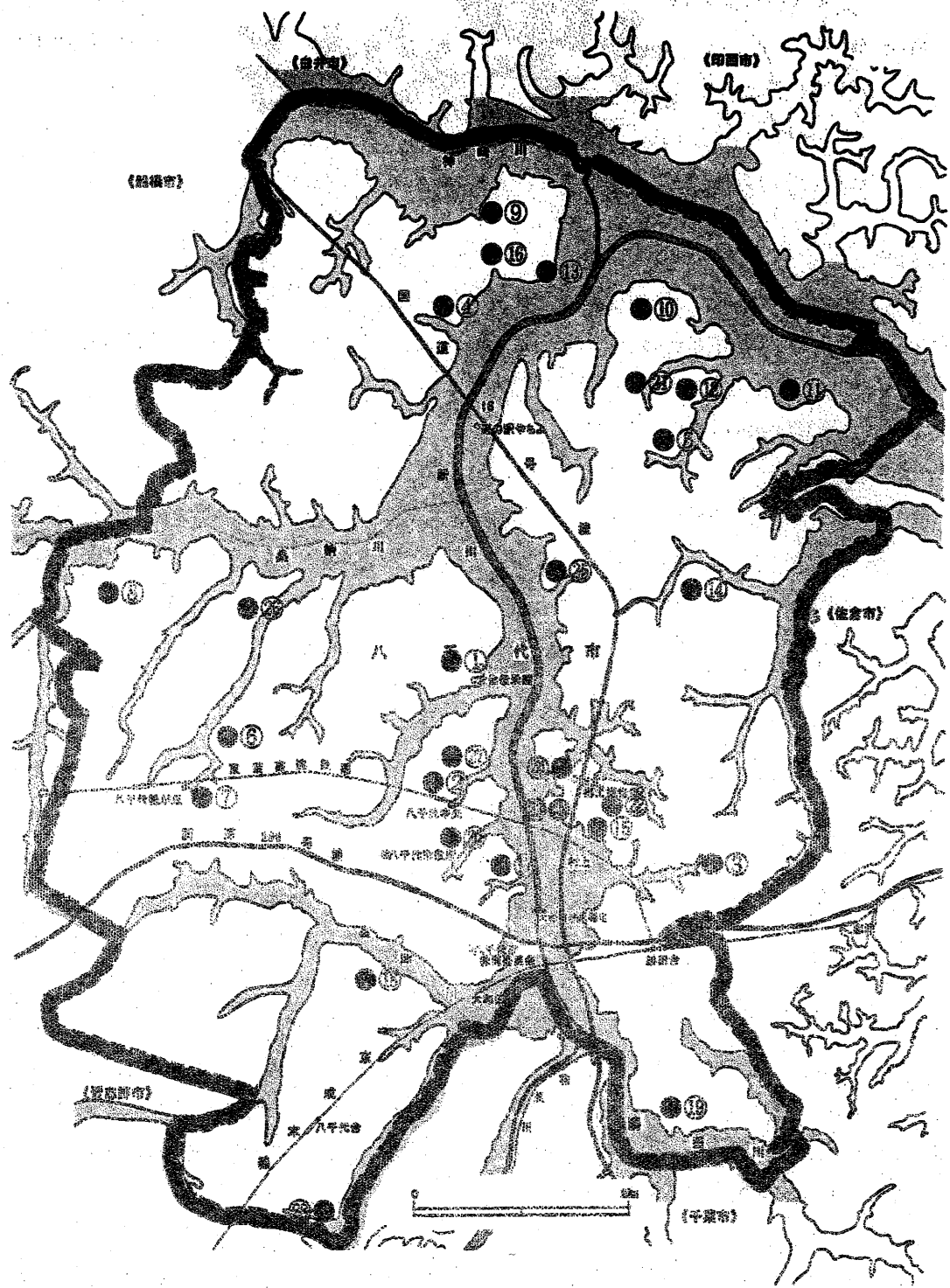
八千代市では弥生時代中期から遺跡が出現します。保品の栗谷（くりや）遺跡では方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ）と呼ばれる弥生時代中期のお墓 11 基と竪穴住居跡 5 軒を調査しました。

後期になると遺跡の規模が大きくなります。栗谷遺跡では 93 軒もの竪穴住居跡を調査しました。栗谷遺跡は印旛沼南岸では最大級の弥生時代後期の集落と言えます。他にゆりのき台の権現後遺跡、島田台の道地（どうち）遺跡、上高野の平沢（ひらさわ）遺跡でも弥生時代後期の集落を調査しました。

### 古墳時代

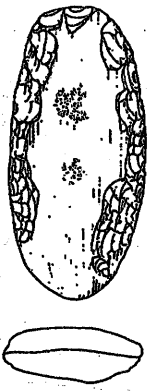
奈良や大阪などを代表とし、各地で巨大な前方後円墳が作られた時代です。前期・中期・後期・終末期に区分されています。

八千代市には村上に根上神社（ねのかみじんじや）古墳があります。全長は 50m ほどで、神

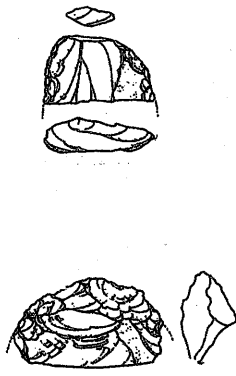


市内の主な遺跡

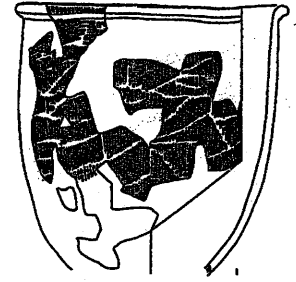
- ①権現後遺跡 ②坊山遺跡 ③新林遺跡 ④間見穴遺跡 ⑤上谷遺跡 ⑥大和田新田芝山遺跡 ⑦ライノ作南遺跡
- ⑧八王子台遺跡 ⑨佐山貝塚 ⑩神野貝塚 ⑪大江間遺跡 ⑫栗谷遺跡 ⑬道地遺跡 ⑭平沢遺跡 ⑮根上神社古墳
- ⑯平戸台古墳群 ⑰川崎山遺跡 ⑱内込遺跡 ⑲勝田大作遺跡 ⑳白橋前遺跡 ㉑向境遺跡 ㉒村上込の内遺跡
- ㉓浅間内遺跡 ㉔正覚院 ㉕米本城跡 ㉖吉橋城跡 ㉗井戸向遺跡 ㉘高津新田野馬堀遺跡



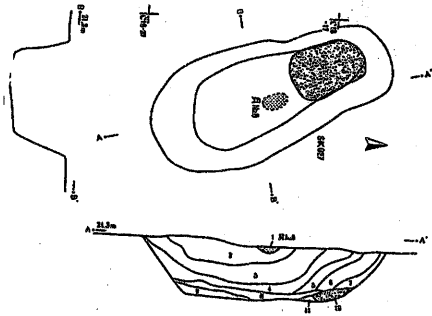
権現後遺跡出土旧石器



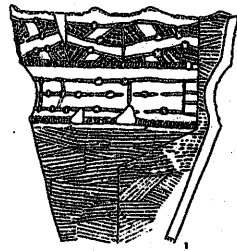
ヲサル山遺跡出土旧石器



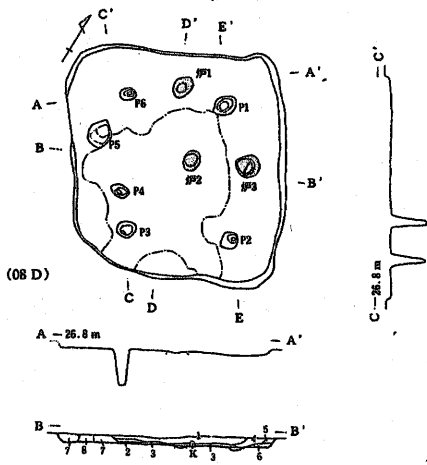
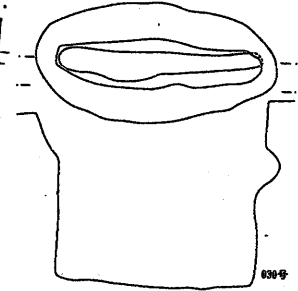
権現後遺跡出土縄文土器 (早期)



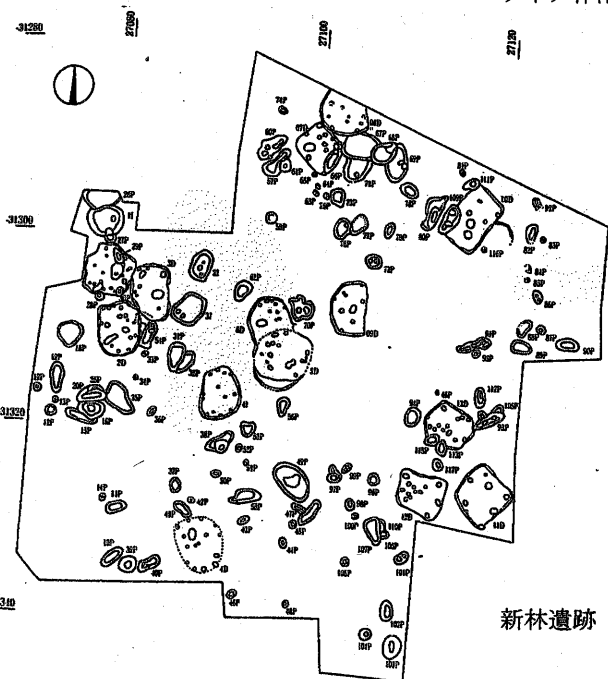
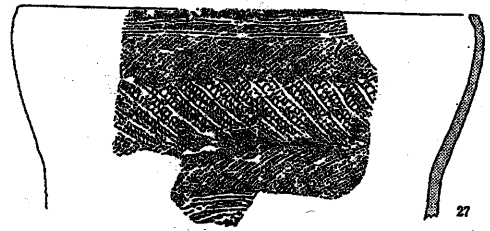
間見穴遺跡の炉穴と出土縄文土器 (早期)



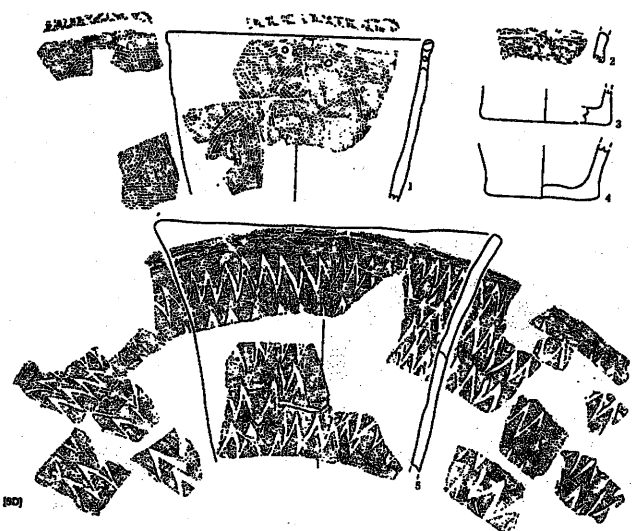
大和田新田芝山遺跡の縄文時代の落とし穴



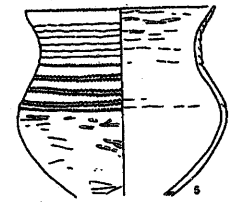
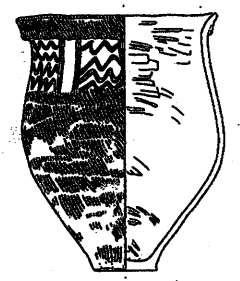
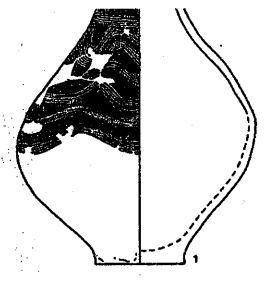
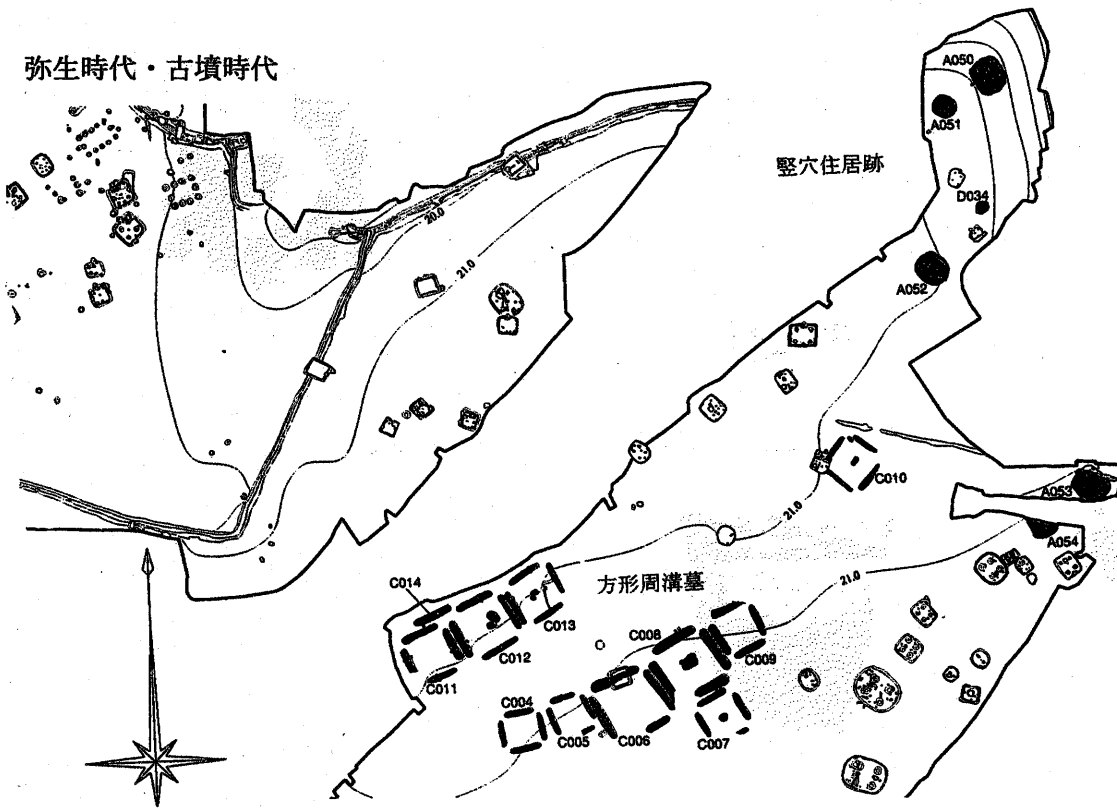
ライノ作南遺跡 竪穴住居跡と縄文土器 (前期)



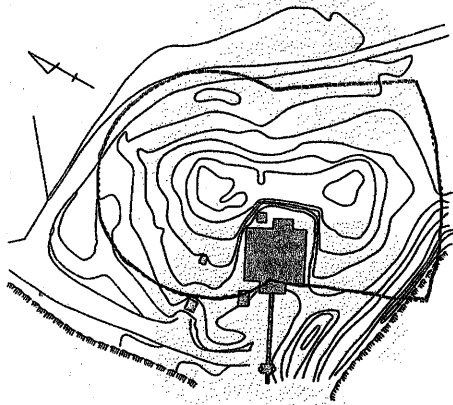
新林遺跡 縄文時代 (前期) 集落と縄文土器



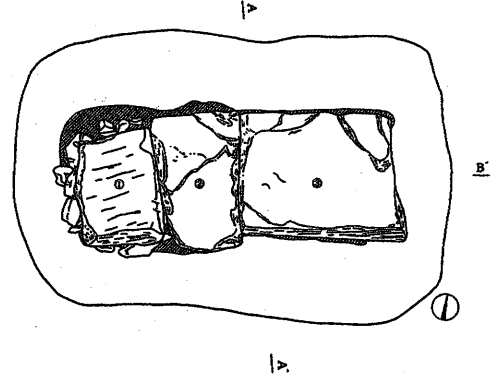
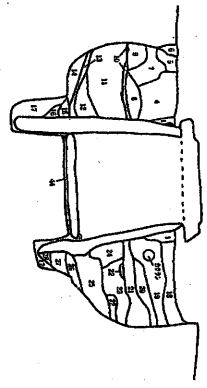
弥生時代・古墳時代



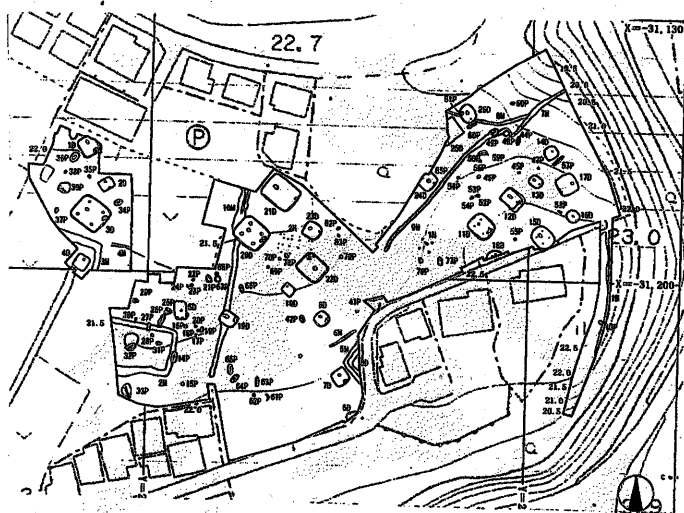
栗谷遺跡の方形周溝墓と集落・出土弥生土器



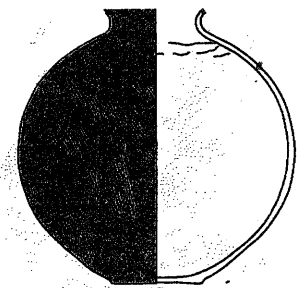
根上神社古墳

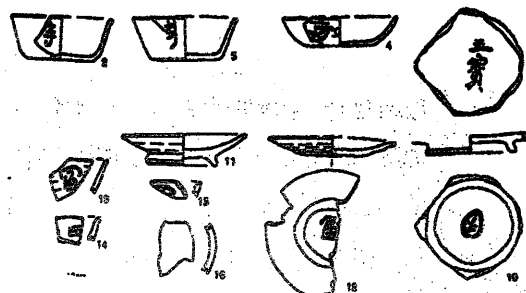
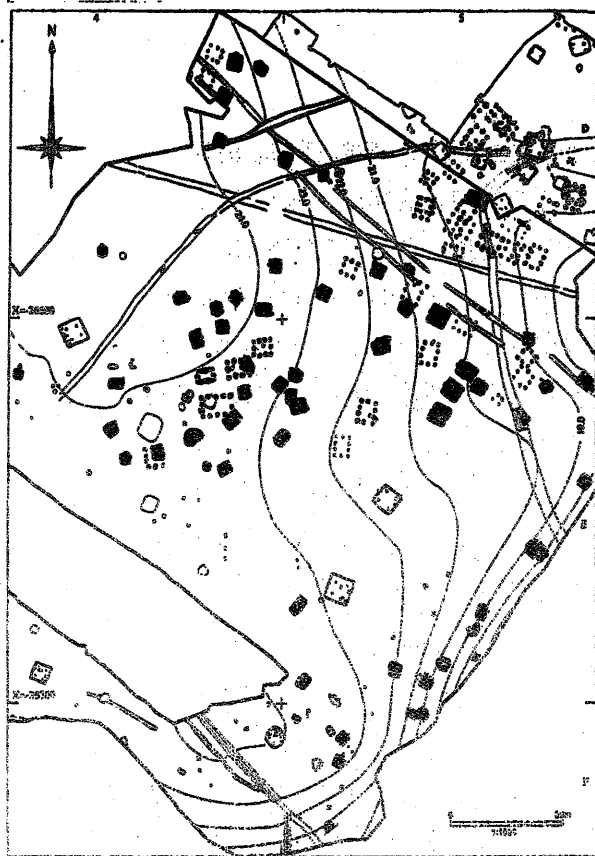


平戸台2号墳石棺の平面図・断面図

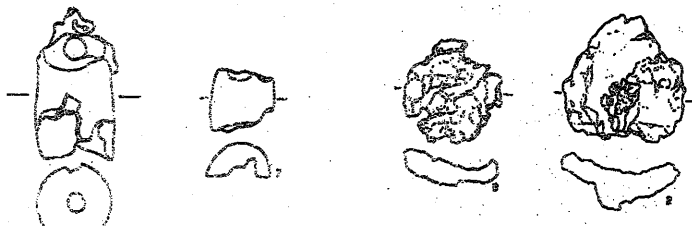


川崎山遺跡の集落と古墳時代の土器





鎌倉土器 (寺・三笠等)

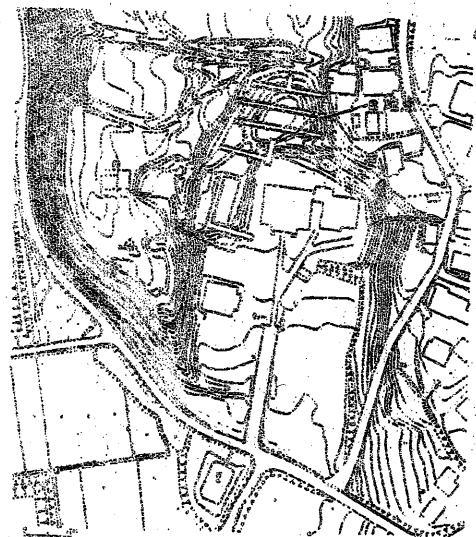


鑛 (ふいご) の羽口 鑛滓 (生成中の鉄の塊)

向境遺跡の集落と出土土器



吉橋城跡



正覚院跡

※図の縮尺は任意です。

—お 知 ら せ—

八千代市制施行50周年記念事業 出土文化財展示会

第1回出土文化財展示会	勝田台ステーションギャラリー	平成28年10月29日～10月31日
第2回出土文化財展示会	市民ギャラリー	平成28年12月17日～12月18日
第3回出土文化財展示会	緑が丘公民館	平成29年1月28日～1月30日

社の社で一部破壊を受けていますが前方後円墳の形がうかがえます。根上神社古墳は、八千代市の文化財に指定しています。その他、調査された例として後期の古墳で、平戸の平戸台2号墳、平戸台8号墳などがあり、石の棺の中から鉄剣や玉類、人骨などが出土しました。

古墳時代の集落跡としては、前・中期の集落跡に萱田町の川崎山(かわさきやま)遺跡、後期の集落跡に八千代台の内込(うちごめ)遺跡、勝田の勝田大作(かつたおおさく)遺跡などを調査しました。

### 奈良・平安時代

奈良・京都に都が造られ、朝廷を中心とした中央集権国家が完成した時代です。千葉県各地で遺跡数が増加する時期で、八千代市でも数多くの遺跡の調査を実施しています。

ゆりのき台の南側に所在する白幡前(しらはたまえ)遺跡では、竪穴住居跡279軒、掘立柱建物150棟の調査がされました。

保品の上谷遺跡では、竪穴住居跡203軒、掘立柱建物194棟を調査しました。上谷遺跡の掘立柱建物は、ある程度規則性を持った配列をしていて、一般の集落とは異なる性格を持った遺跡と言えるでしょう。

八千代市の奈良・平安時代の遺跡の特徴として大規模な集落を営むことに加え豊富な墨書(ぼくしょ)土器が出土することにあります。墨で文字・記号等が書かれた土器のことを墨書土器と呼びますが、通常一文字か二文字書かれているのみで、出土量も多くはありません。ところが八千代市で出土する墨書土器は、多文字の墨書土器が多く、出土量も市町村全国第3位というデータがあります。

神野の向境(むかいさかい)遺跡では、鉄製品を製作した鍛冶炉や仏教関係の墨書土器が出土しています。その他には、村上の村上込の内

(むらかみこめのうち)遺跡(現村上団地)、浅間内(あさまうち)遺跡などがあります。

### 中世(鎌倉・室町)・近世(江戸時代)

貴族が没落し、武士が活躍をする時代です。遺跡の数は少なくなります。人々が少なくなったわけではなく、平地式の住まいが増え遺跡の立地も現在の集落とほぼ同じような場所になり、遺跡として捉えにくくなった為と考えられます。

村上の正覚院(しょうかくいん)は周辺の調査や地形などから、武士の館の跡と考えられています。また、戦国期の城として米本にある米本城、吉橋にある吉橋城などがあげられます。

その他の遺跡として、ゆりのき台の井戸向(いどむかい)遺跡、白幡前遺跡(e地点)などがあります。井戸向遺跡では中世の墓などが多数調査され、白幡前遺跡では、多くの中近世の陶磁器が出土しました。

また、近世の遺跡では千葉市との市境部分に高津新田野馬堀遺跡があります。江戸時代の千葉市周辺には幕府の牧があり、千葉市、八千代市の境に土手や堀を築き、馬が逃げないようにしました。土手はほとんど現存していませんが、堀は、わずかに残っている地点もあります。

### 終わりに

各時代にわたり、紹介できた遺跡はごく一部です。八千代市の歩みとともに発掘調査も引き続き行われていくことでしょう。次世代に引き継がれる文化遺産が今日もまた出土するかもしれません。

埋(まい) やちよ No.34  
—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—  
平成28年10月15日  
編集・発行 八千代市教育委員会  
教育総務課 文化財班  
八千代市大和田138-2  
☎276-0045 ☎047(481)0304